

兵庫県
議会議員

内藤 兵衛

県政NEWS No.38 2023. 1



一日生涯

「一日生涯」は、内藤兵衛議員の座右の銘です。今日の一日を生涯と心得て、全力を出し切るという思いを込めています。

「躍動する兵庫」へ 新しい息吹がいま

令和 5 年が始まりました。コロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵略等による不安定な世界情勢、エネルギー価格や物価高騰など厳しい局面が続いています。この難局を乗り越えるには時代の変転を見極める知恵と勇気を持ち、臆することなく伸びやかに試行する挑戦の精神が、求められています。

兵庫県は時代の流れをとらえる感性と構想力、殻を破るチャレンジ精神をもった若きリーダー齋藤元彦知事のもと「躍動する兵庫」への第一歩を踏み出しました。県内各地に成長の種がまかれ、人・モノ・投資が集まる兵庫へと新しい風が吹いています。

4 期目の今任期は、政治のダイナミズムを体感した 4 年間でした。新しい兵庫の未来を切り拓くべく、不退転の決意を誓い合った県議会議員とともに「自民党兵庫議員団」を結成、幹事長として県政の「刷新」を訴え行動し、齋藤新県政が誕生しました。県政史に残る変革の最前線で戦ったと感じています。

県政の両輪を担う県議会の与党会派幹事長として、重大な使命をしっかりと受け止め、対話と現場主義を基本姿勢とした次代を創る改革に挑み、「人の躍動」「地域の躍動」「経済の躍動」、この三つが織りなす「躍動する兵庫」に向かって全力で走り続けます。



齋藤知事とともに「改革」を前進させ、「躍動する兵庫」の実現を目指します

自民党兵庫議員団幹事長として
次代を創る「改革」に挑む

齋藤県政と両輪となって新県政を前に



新年度予算編成に対しての申し入れ内容を自民党兵庫議員団幹事長として齋藤知事に説明

齋藤元彦知事とは、しっかりと議論を積み重ねながらコロナ対策や県政改革、時代潮流の流れをとらえた政策提言、公民連携による施策展開、現場の声をもとにした課題の解決など、新しい県政を前に進めてきました。令和 5 年も県政の両輪となって「躍動する兵庫」の実現に誠心誠意努力して参ります。

自民党兵庫議員団幹事長としての実績と来年度の政策提言を 2～4 面に掲載しています。ご一読ください。

県土にまかれた成長の種 「躍動する兵庫」へ大輪の花を咲かす

ビルドを重視した行財政運営

令和4年度

社会の変化に対応し、持続可能な行財政基盤を確立するため、行財政運営方針を見直した「県政改革方針」を策定。今年度から同方針に基づいた行財政運営が行われています。事業の選択と集中を徹底し、単なる歳出削減型の見直しではなく、未来志向の事業や時代に即した改善の方向性を示すなど、ビルドを重視した改革を進めています。

政策提言

令和5年度は、県政改革方針に基づく取組を着実に進めるとともに、時代にそぐわない事業はゼロベースで見直し、官民連携に一層取り組むなど、効果的・効率的な県政改革を県当局とともに進めて参ります。



県政改革方針の策定に当たっては県議会に特別委員会を設置。副委員長として県民本位の改革などを要請しました

新たな価値を生む経済の構築

令和4年度

中小企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）人材の育成や経営改善・成長力強化を支援。若者を対象とした「ひょうごスタートアップアカデミー」の開設や、2050年の水素社会の実現に向け、産学官が連携する「ひょうご水素社会推進会議」を設置し、水素の利活用方策などを検討しています。県内への投資は2021年、外資系企業の立地が過去10年で最も多い88社となりました。



兵庫県で開催された第1回ドローンサミット スタートアップを支援する起業プラザひょうご

政策提言

2025年の万博、2030年の神戸空港の国際化など、本県経済にとってはチャンスが続くことから、次世代産業のさらなる育成、先端半導体や次世代電池など技術開発・製造拠点の形成をはじめ、多文化共生の推進など世界から選ばれる投資環境を整備し、国内外から人・モノ・投資を呼び込み、未来へのイノベーションの加速化、地域産業、雇用の活性化を目指します。

地域創生戦略の新たな展開

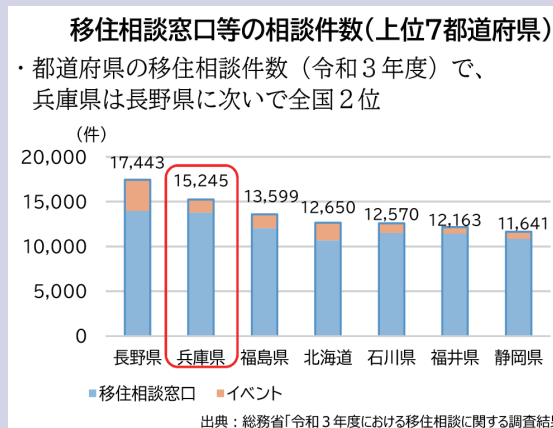
令和4年度

昨年3月、ポストコロナ社会を見据え、「挑戦」と「包摂」を両輪に兵庫のめざすべき姿「躍動する兵庫」を描いた、新しい長期ビジョン「ひょうごビジョン2050」を策定しました。こうした新たな要素を県地域創生戦略に反映させるため、計画期間の中間年にあたる今年度、中間見直しを行っています。後期重点取組の骨子案では、①SDGs、②公民連携、③DXを共通基盤として、社会増・自然増対策を進めることを打ち出しています。

政策提言

検証結果では、一人当たりGDPの伸びは国を上回り、住み続けたいと思う人が高い

割合を維持するなど戦略目標を概ね達成していますが、自然増対策等に一層の危機感を持って取り組むとともに、移住促進に向けて関連施策を一元化して推進するプロジェクトチームの立ち上げを求めています。



誰も取り残されることのない社会を先導

令和4年度

生活に困難な課題を抱える妊産婦に住まいを提供する支援プロジェクトの創設や、発

達障害児の私立認定こども園の受入を広げるため、国の補助制度の対象外となる一人の受入であっても県として独自に支援しています。また、家族の世話などを行う子どもや若者等ヤングケアラーの支援体制づくりを推進するなど、先導的な施策を実施しています。



ヤングケアラー相談窓口を開設

政策提言

育児支援を希望する家庭と家事・育児支援の意向を持つ地域住民をマッチングする体制の構築など、結婚し、子どもを産み育てたいという希望を叶える取組の充実、支えが必要な子どもや子育て家庭をめぐる課題に対して、社会全体で支援する取組を推進します。

農林水産業の持続的発展

令和4年度

持続的な農業の確立に向けて、県産農林水産物の流通・販売拡大への支援事業や産地の課題とスマート農業技術を持つ企業をマッチングする仕組みの構築などを支援しています。



政策提言

世界情勢の不安定化や気候変動等といった様々なリスクから県民の食を守るため、危機感を持って食料安全保障に取り組むとともに、コロナ禍における食のニーズの変化を的確に把握し、持続可能な農水産業の発展に生かす取組や、有機農業の促進に向けた新展開を検討します。

子どもたちの教育環境を充実

令和4年度

学校のICT化の推進をはじめ、県立学校のトイレ改修・空調整備を計画的に推進。普通教室棟のトイレ改修は前倒しで実施し、令和5年度中に完了する予定です。



学校のICT化を推進

政策提言

社会のあらゆる分野で活躍できるよう、新しい時代のニーズを踏まえた魅力や特色ある学校づくりの推進、「生徒ファースト」の視点で学校施設の改修、部活動の環境充実など快適な学校環境の整備を加速させます。

安全安心、未来を支える社会基盤の整備

令和4年度

治水などの事前防災対策、社会基盤施設の老朽化対策、迅速な復興を支える道路ネットワークの整備を促進。河川改修や砂防堰堤、治山ダム等を前倒しで着手。東播丹波連絡道路など道路ネットワーク強化を推進。



日野北バイパスの開通で市原東交差点では渋滞が解消

政策提言

通学路の歩車分離など安心して通行できる道路整備や渋滞交差点・問題踏切の解消、生活道路の整備をはじめ、基幹道路と産業拠点や観光地をつなぐ地域の道路ネットワークの一体的な整備を要請します。

公民連携、世代を超えてSDGs 積極展開

令和 4 年度

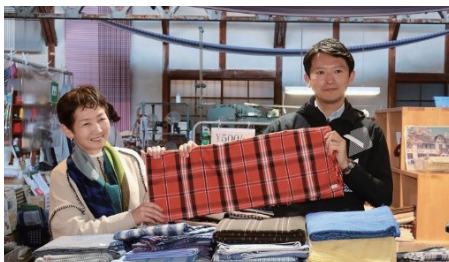
SDGs の視点を県政に取り入れ、先進県として兵庫のブランド力を高めるため知事を本部長とする推進本部を庁内に設置し、全庁あげて関連施策を推進しています。関連 50 事業を集中実施した「兵庫県庁SDGs WEEK」など取り組みの輪が拡大しています。SDGs を取り入れた播州織の取り組みも進んでおり、この活動で西脇高校家庭クラブが全国高校家庭クラブ研究発表大会で最優秀賞を受賞し、齋藤知事に報告しました。



SDGs の活動で全国高校家庭クラブ研究発表大会で最優秀賞を受賞した西脇高校家庭クラブの生徒が齋藤知事に日ごろの取り組みを報告

政策提言

SDGs をわかりやすく伝えることや他府県との差別化により、SDGs を主軸にした本県のブランド力の強化を図るなど、新たな動きを拡げます。



知事が候補地の播州織の現場を視察

フィールドパビリオンの全県展開へ

令和 4 年度

地場産業や農林水産業など地域の取り組みを 2025 年の大阪・関西万博の地域パビリオンとする「ひょうごフィールドパビリオン」の全県展開へ、SDGs 体験型地域プログラムの募集を開始したところ、111 件の応募がありました。

審査のうえ、第 1 弾を認定します。播州織も候補地の大きな一つとなっています。

政策提言

フィールドパビリオンの取組を通じ“HYOGO”の魅力を磨き上げ、国内外に発信し、万博来場者の誘客だけでなく、万博後の継承・発展につながるようオール兵庫の展開をともに進めて参ります。

若者と齋藤知事が語ろう会

「齋藤知事と語ろう会」を 8 月 11 日開催。地域の若者たちを中心に約 70 人が参加し、西脇多可の将来像などについて意見を交わしました。SDGs の取り組みなど様々な分野で率直な意見やアイデアが出され、会場は熱気であふれました。齋藤知事はそれぞれの意見の感想や質問に答え、県政に反映する考えを示しました。



「2022 県政報告会」を開催



10 月 16 日、「2022 県政報告会」を開催しました。会場一杯の約 600 人の方に参加していただきました。ありがとうございます。

第一部は県政報告をさせていただき、第二部は齋藤知事が「躍動する兵庫」をテーマに講演。これからの兵庫の目指す姿、その大きなグランドデザインを 1 時間たっぷり熱く語っていただき、多くの皆さんにご理解いただいたと思います。自民党兵庫議員団の仲間も駆けつけ、齋藤知事とともに改革を進めていくことを改めて誓い合いました。